



「昭和のくらしを支えた道具たち」で展示中の黒電話と白黒テレビ（6月23日撮影）

# 鯨

～いさな～

## 第10号

昭島市郷土資料室  
〒196-0012  
東京都つつじが丘  
3丁目3番15号  
アキシマエンシス  
国際交流教養文化棟1階  
TEL:042-543-1523  
FAX:042-542-8002  
(昭島市民図書館共通)

むかしの道具を見て、  
「昭和時代」のくらしを想像してみよう



ホームページはこちら



ツイッターはこちら



昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、アキシマエンシスのホームページ ([https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage\\_list.html](https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html)) または アキシマエンシス公式ツイッター (@akishima\_ensis) で見ることができます。

現代のくらしの中には、インターネットからいろいろな情報を手に入れられるスマートフォンや、中の食材をちょうどいい温度で冷やすことができる冷蔵庫、ネットワークにつないで情報を送受信できるテレビなど、便利な道具がたくさんありますが、みなさんのおじいさんやおばあさんが子どもだった昭和時代には、このような便利な道具はまだありませんでした。

昭島市郷土資料室では七月二十三日（日）まで、昭和時代に使われていた道具を展示する企画展「昭和のくらしを支えた道具たち」を開催しています。火を使ってお米を炊く時に使われていた「羽釜」、氷の冷たさを使って中の食べ物を冷やす「氷冷蔵庫」、炭火の熱を使ってアイロンがけをする「炭火アイロン」、家庭で電話が使われ始めたところに普及した「黒電話」など、昭和時代のくらしの中で身近にあった道具たちを見ることができます。

昭和時代の道具を通して、昭和時代に比べて現代の私たちがどれくらい便利な生活をしているのか、考えてみませんか？



令和五年度 七月～九月の展示・イベント予定

◎企画展示「昭和のくらしを支えた道具たち」

展示期間：五月九日（火）～七月二十三日（日）  
展示内容：白黒テレビ、羽釜、黒電話など、昭和時代のくらしを支えた道具を展示しています

◎イベント「ちょっとむかしの遊び体験」

開催日時：七月二日（日）、九日（日）、十六日（日）、二十三日（日）  
午後二時から一時間程度

内容：「おはじき」を使って遊ぶ体験型ワークショップです  
対象：小学生～大人／定員：各回十名（先着順）  
参加費：無料／申込：電話・窓口

◎企画展示「アキシマの縄文時代」

展示期間：七月二十五日（火）～十月二十九日（日）  
展示内容：昭島市内で出土した縄文土器を中心に、昭島市内の縄文時代を物語る資料を展示します

★イベント「まが玉作り教室」

開催日時：八月十一日（金）午前十時～正午  
内容：石からまが玉を作る体験型ワークショップです  
対象：小学生／定員：二十名（多数抽選）  
参加費：四百円／申込：メールフォーム・電話・窓口

★イベント「ナイトミュージアム」

開催日時：八月十八日（金）午後七時三十分～午後八時三十分  
内容：閉館後の郷土資料室や作業室を見学するイベントです  
対象：小学生～大人／定員：三十名（多数抽選）  
参加費：無料／申込：メールフォーム・電話・窓口

★マークのイベントは、参加に事前申し込みが必要です。  
イベントの詳細は郷土資料室のスタッフにお問い合わせいただくか、郷土資料室ホームページまたは館内の掲示をご確認ください。

利用案内

○開室時間

昭島市郷土資料室 火曜日～金曜日 午前十時～午後八時  
土・日・祝日 午前十時～午後六時

郷土資料展示室 午前十時～午後五時  
（見学を希望される方は郷土資料室のスタッフにお声がけください）

○休室日

月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始、特別整理期間

○交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩十分

立川バス（昭22、昭23、昭23-2、昭24、昭26、拝13）  
「昭島市民会館」下車徒歩五分

Aバス（北ルート）「アキシマエンス」下車すぐ



○休室日のお問い合わせ先

休室日のお問い合わせは、

昭島市教育委員会 生涯学習部  
アキシマエンス管理課 文化財係

TEL:042-519-5717  
FAX:042-519-7456

までご連絡ください。